

# どんな石が使われているのかな？

いろいろな石の道具があったけど、どんな種類の石が材料に使われているのかな？道具はみんなひとつひとつ手作りされたもので、その材料のほとんどは近くの川や海などからちょうどいいものを選んで作ったんだ。その材料になる石は、みんなの身近にもあると思うよ。川や海に行ったときは探してみよう！

砂岩：砂が固まった石。すり石や、たたき石によく使われる。

頁岩：割るときれいに板みたいになる石。石包丁などによく使われる。

# マイブツカンヤ Vol.3

## 特集：石の道具をしろう！

### めずらしい石



#### こくようせき

火山の噴火によってできた石。縄文時代からヤジリやナイフとして使われている。



#### ひすい

国内では主に、新潟県の糸魚川というところでとれるかたい石。岡崎古墳群から見つかった“まがたま”はこの石だよ。



#### チャート

動物の死体が海の底にたまってできた石。とても固い。



#### すいしょう

すきとおっていたり、白くにぎっていたりする。



もっと知りたい！…そんな時は連絡してみよう

鹿屋市教育委員会 文化財センター 鹿屋市串良町岡崎 2059 串良総合支所別館  
電話 0994-31-1167 / Fax 0994-63-3400  
E-mail: [bunkazai@e-kanoya.net](mailto:bunkazai@e-kanoya.net)  
URL <http://www.e-kanoya.net/>

#### 施設の紹介



王子遺跡資料館



串良歴史民俗資料室



輝北歴史民俗資料館

# 生活の道具

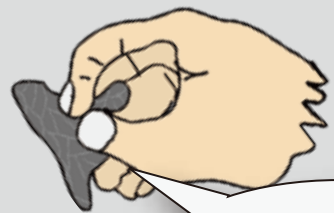
ふだんの生活をするなかで、道具の多くは石でできていました。家を建てる材料となる木の切り出しには、“石おの”。弥生時代になると稲作が本格化し、“石包丁”を使って、イナホの部分だけを刈り取っていました。その後しばらくすると、石で作った“石がま”が登場して、稲の根っこのほうから刈り取るようになりました。鉄の“かま”は現在でも使われていますが、石包丁を使う人はもういません。



いしはちろう  
石包丁



いしがま  
石鎌



動物の皮をはぐ  
道具 石さじ。



石さじ

# アクセサリー

むかしの人オシャレをしたい気持ちがあったのでしょうか？“まがたま”や“くだたま”を身につけていました。ただオシャレのためだけではなく、お守りとしても使っていたようです。

しかし珍しい石で作られた“まがたま”は、身分の高い人だけが身につけることができました。

近くでとれない  
貴重な石も  
あるよ



“まがたま”と“くだたま”



# 狩りや戦いの道具

道具作りは、石をわる  
ことから始まるよ



せきぞく  
石鏃 (石のやじり)

イノシシなど、動物の狩りや、ムラ、クニを守るために、石で武器を作っていました。発掘によって“やじり”などは意外にたくさん見つかります。やじりは、重いほど深くつきささり、反対に軽いほど遠くに飛ばすことができます。

石おのは、木の  
ぼうにつけて  
つがったよ



ま  
せき  
磨せい石ふ (石をといで作った石おの)



だ  
せき  
打せい石ふ  
(石をわって作った石おの)